

内視鏡室の紹介

東京医科大学八王子医療センター
北村勝哉

東京医科大学八王子医療センター

責任者：北村勝哉（消化器内科・教授・科長，内視鏡部・部長） 〒193-0098 東京都八王子市館町1163番地

概要

沿革・特徴

東京医科大学八王子医療センターは、1980年（昭和55年）4月に八王子市からの誘致にて開院し、八王子市の人口約58万人を含む南多摩医療圏約144万人の中核病院として、「先進医療」と「地域医療」の機能を併せ持つ医療機関である。当院の理念は、「人間愛に基づいて、患者さんに寄り添った優しい医療を実践します」であり、「救急医療」、「移植医療」、「がん治療」を柱とし、研修医教育にも注力している。標榜診療科数36科、許可病床数610床の総合病院としてあらゆる疾患への対応と効率的な医療システムの運用を心掛けており、三次救命救急センター、地域災害拠点病院、がん診療連携拠点病院、臓器移植医療拠点病院、感染症指定医療機関、地域医療支援病院の指定を受けている。内視鏡部は1991年（平成3年）に新たに独立した部署として設立された。

1980年（昭和55年）4月 開院

1991年（平成3年）3月 内視鏡部設立

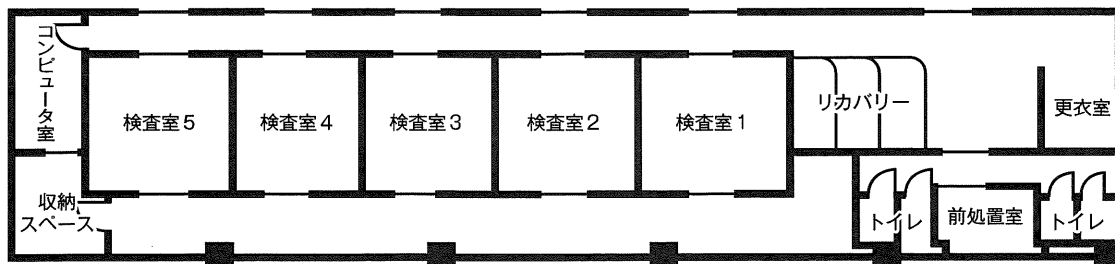
許可病床数（2023年（令和5年）4月1日現在） 610床（一般病棟602床，感染症病床8床）

職員数（2023年（令和5年）4月1日現在） 1,405名（医師339名：非常勤を含む）

組織

内視鏡部は診療部における中央診療部門の一部署に位置づけられ、独立している。

検査室レイアウト



総面積：182.79m²

内視鏡検査室：5ブース

リカバリーベッド：4床

前処置室・トイレ・更衣室：完備